

林・悩・煩・遊

順正寺報 2021. 1月

修正会

よ初座

左記の通り修正会を行います
本年最初のご法座です

一月十日（日）

午前十一時三十分より

密を避けるため定員二十
五名とします。（要申し込
み）

読経 法話。順正寺名物大根

炊き、福引で遊びましょう。

初春のお慶び申し上げます

昨年中は大変お世話になり
ました。

おかげさまで新しい年を迎
える事が出来ました。

今年もまた諸事雑事に追わ
れながらあつという間に一年
が過ぎるのでしよう。

意識しようがしまいが好く
も悪しくもその一つ一つの積
み重ねが私です。

共にお念仏の道を歩みまし
よう。

※お申し込みはお電話で結構
です（最終ページ）

全ての人が等しく新しい年をお迎えになられましたことお慶び申し上げます。

去年は新型コロナウイルス一色、日々の生活も変わらざるを得ない厳しい状況でした。もっともウイルスにとっては令和二年も三年も関係ないので今年がどうなるかはさっぱり判りません。

色々じたばたしてみましたが、結局、できる事を一生懸命やっけていくしかない事に気づかされる訳です。そして、まだ、一生懸命踏ん張れる環境と気力と体力があることに少し喜びます。相変わらず結果はどう出るか不明です。

しかし、こうなってくると、私のように、よく言えば臨機応変、変幻自在。悪くは言いたくないがその場凌ぎ、その日暮らしの性格はよく言えばなんか活き活きして、悪くは言いたくないが浮き足立ってしまいます。何しろ「朝に紅顔、ゆうべに白骨となる身なり」今まで何万回も口にした蓮如上人の言葉が俄然現実となり、「お前、今何をしている？お前ができることは何？」と始終わが身に問いか掛けてくるのですから。

だからと言って年中テンパっているわけもなく、そこは生来の怠け者、適当にサボることも忘れていません。さて、皆さんもお気付きと思いますが今年がどうゆう年になるか、思えるか、それは、自分次第なんです。そして、五里霧中右往左往年中不安な私に「大丈夫！」と背中を押してくださいるのがアミダさんです。

「変化しないものは ひとつもないんだよ・変化するって自然なことなんだ・ぼくたちも変化し続けているんだ・死ぬということも変わることのひとつなのだよ」

絵本「葉っぱのフレディ」の一節です。久しぶりに読んでみよっと！ うん、私は大丈夫だ！

住職 念堂

新年のご挨拶を申し上げます。

昨年一年間、まったく気もつかないところで、多大なるご迷惑を、そこから中に掛けて生きてきたことなのだろうなあ、と、ぼんやりと感じています。

しよせん、「だろろうなあ」が精一杯なところですよ。

実感として、気づいて、迷惑かけたな、ということもたしかに在り、その都度反省したり、恥じ入ったりはしていましたが、それはごくごく一部であり、気付かず掛けている迷惑によつて、わたし自身はこの一年もなんとか生きてこれたのでしよう。

光と闇。

私たちは光を遮っているから見えるんです。光そのままを光として受け取ることができないのです。

迷惑をかけない生き方はできません。一番、大切なことは、人に迷惑をかけている、その自覚です。光を遮つてある自分だということですよ。

祖父江文宏

わたしをわたしならしめてくれている、生命や思いや願い、そうしたものの働きがわたしにはわからないのですよね。でも、ここに、いま、わたしがあるということは、間

違いなくそうした働きの、諸々の縁の証明でもあるわけですよ。光というものは見えませんが、その光が照射するものを見ていますよね。そのものは光が当たらなければ「闇」にあるわけでみることができない。光も「闇」を照射しなければその存在が確認できない。

あなたに影の部分があるなら、

それは光が当たっている証拠

レディ・ガガ

光に気づいたら、それは「影」がある、つまり光を遮る「わたし」がそこにいるという、「わたし」の存在証明でもあります。

他人に迷惑をかけないように、と気を配りながら生きることは社会生活をしていく以上は大事でしょう。でも、迷惑かけずに生きられる、生きているは傲慢であると同時に、「光」を、お陰様を、縁を自ら否定する、寂しい生活となります。

多くの迷惑を知らず識らずのうちに掛け、それに生かされている今なんだという事実を、その事実が何よりものわたしの存在証明でもあるのだと受け止めて生活していきたく思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

副住職

今年、丑年だそうで私は年男になってしまい、それも5回目、つまり還暦になってしまいました。20代のころ60才の自分なんて想像もできませんでしたがあと2か月ちよつとで60になるこの期に及んでも60歳の自分を想像できませんというか、ほぼ想像してません。そりゃ、年々疲れが取れにくくなってきたとか痛風、糖尿、高血圧、橋本病、高コレステロールでハネマン！飲む薬が増えてめんどくさいとか、それなりに順調に往つていますが、一昨年はポッドキャスト「順正寺ラヂオ」去年はYouTube「順正寺TV」を始め、また9月に地元石神井中学の生徒が地域のオリエンテリングで大勢訪ねてくれ、その時の中学生との座談会がとも面白く今年はライブハウスで「順正寺ライブ」を開催しようとかまだ何にも計画してないにも拘らず虎視眈々と機会をうかがっています。と云う訳で図らずも若いころに漠然と思っていた暴僧老人に成れそうです。呆れてもいいですが今年もよろしく願います。合掌 住職

住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。また土曜、日曜に行われる一日葬が増え、その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることが有ります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、ど

うかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事

いずれもご自由にご参加下さい

開法会

毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）2時間ほど

グリーンケアの集い「微妙音」

一月お休み
八月お休み

毎月5日午後2時より2時間ほど

白色白光の会

（婦人会）毎月第2木曜午後1時

お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」

毎月、第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時間
参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山 順正寺 東京都練馬区石神井町三十七・四

お問い合わせ。午前9時から午後5時までは

03-3996-2064

それ以外の時間緊急の場合

080-5464-9136